

RISM方針

リーテム統合マネジメントシステム（Re-tem Integrated System of Management）

[理念]

株式会社リーテムは、「未来のために、よりよい自然環境を保全し、希望と生命力にあふれた社会の実現に貢献します」を経営理念に掲げ、リーテムが誇るエコマネジメント力を最大限に發揮し、利害関係者の求める社会の実現に貢献していく。この理念を事業活動の全ての面に反映させるための指針として、次のとおり基本方針を定める。

[基本方針]

■RISM基本方針

1. 【維持改善】
利害関係者のリスク等に関する要請を的確に捉え、安全、健康、利益、情報セキュリティの確保と維持改善に努力する。
2. 【教育訓練】
社内マネジメント力を強化し、全社員が本RISM方針の内容と重要性を理解し、RISMを実践できるよう教育と訓練を行う。
3. 【管理策の計画実施】
目的、目標を定めて全社員がRISM活動を行うとともに、環境保全、情報セキュリティ、法的及びその他の要求事項の遵守、労働安全衛生などの観点でRISM管理策を計画・実行する。
4. 【社内外コミュニケーション】
リスクの回避、予防策の情報共有を効率的、効果的に行うことにより、社内のコミュニケーションを促進させ、社内マネジメント力を最大限にするとともに、顧客、地域住民、同業者、業界団体、関係官庁など社外とのコミュニケーションを図る。
5. 【有効性評価】
RISMの活動状況や管理策進捗状況の確認を適宜行うことにより、RISM全体の有効性を見直し、継続的な改善を図る。
6. 【公表】
本RISM方針を社内に掲示して全社員に周知させるとともに、社外に公表する。

■環境管理(ISO14001)の重点項目

- 資源の有効活用のために、原料としての廃棄物の適正な管理と先進的な処理技術・プロセスの開発努力により、リサイクルの質の向上を図る。
- 環境関連法規制値を遵守するとともに、自主基準値を設定し、環境汚染の予防に努める。
- エネルギー資源を有効に活用し、使用量の削減に努める。
- 各工場で受け入れるすべての物の収集運搬・荷受から搬出に至る全工程において、環境管理と事故の発生防止の向上に努める。

■情報管理(ISO27001)の重点項目

- 自社の情報資産をセキュリティ上起こりうる危険や脅威から保護するとともに、それら情報資産の機密性、完全性、可用性を維持する。
- 顧客の情報資産をセキュリティ上起こりうる危険や脅威から保護するとともに、それら情報資産の機密性、完全性、可用性を維持する。

■労働安全衛生管理(ISO45001)の重点項目

- リスクアセスメントにより、作業及び作業環境の危険性・有害性を明確にすると共に、危険要因を除去し、労働災害と健康障害の未然防止に努める。
- 労働安全衛生に対する理解と意識を向上させ、労働安全衛生目的・目標を達成する。

■リスク管理(JISQ31000)の重点項目

- コンプライアンスの重要性についての社員教育を全社において継続して実施する。
- 法令・規制(国際取引における相手国法規制・モラル含む)、取引先との契約、および社内の総ての規範の遵守を徹底する。
- 事務所及び工場においては、安全と労務の管理に留意し、物理的な安全対策、安全教育及び施設の維持管理を徹底する。
- 廃棄物処理における委託先、売却先については、処分または使用目的を確認するためのトレーサビリティを確保し、当社からの物流に関して完結性に留意する。

令和元年 8月1日

株式会社 リーテム

代表取締役

